

令和6年
春号

3月20発行

三重県神社庁 「季節たより」



神さまのお引越し

冬の厳しい寒さも和らぎ、暖かく過ごしやすい気候となつて参りました。春は始まりの季節です。新しい環境に身を置いて生活する方も多くいらつしやるかと存じます。「引越し」もその一つであり、特に春先に引越しをされる方が多いようです。

さて、神さまもお引越しされるといふことをご存知でしょうか。神さまを遷し奉ることを遷座せんざといいます。例えば、神社の本殿を建て直す際には、本殿が完成するまでの間、神さまは仮の本殿へお引越しをするのです。

また、一定の年の周期を定めて行われる式年遷宮しきねんせんぐうと呼ばれる神事があります。最も代表的な伊勢神宮の式年遷宮は二十年に一度行われます。御正宮をはじめ、諸殿舎社殿を新たに造り替え、神さまに奉納する御装束神宝をすべて新調し、大御神に新宮にいみやへお遷りいただく国家の重儀（皇家第一の重事）で神宮最大の神事（神宮無双の大嘗）です。大御神が新宮へ遷られる「遷御せんぎよ」に至るまでには、神殿の建築などの節目に、おおよそ三十の祭典や行事が八年間にわたり斎行されます。前例によりますと、次期神宮式年遷宮は令和十五年に予定され、本年は天皇陛下の御聴許を拝して、伊勢神宮の式年遷宮の準備が始まることとなります。

二十年に一度という一生のうちでも数回しか巡り合えない、祖先から受け継がれてきた日本の伝統に注目してみたいかがでしょうか。

初宮参りについて

初宮参りとは、生まれた赤ちゃんが初めて氏神様に参詣することです。時期は、男子は生後三十一日目、女子は三十二日目にお参りするの一般的なですが、地方によっては時期が異なり一様ではありません。

初宮参りの意味としては、氏子の一員として認めてもらうこと、氏神様の御神徳を得て無事に成育できることを祈願するという意味が込められています。



昭和の日 四月二十九日

昭和天皇がお生まれになられた日で、戦前は「天長節」と定められ、ご誕生をお祝いする祝日でした。平成の御代に改まった際、昭和天皇が自然を愛するお人柄であったことから「みどりの日」と制定されましたが、「昭和天皇誕生日」という本来の意味が伝わりにくいという多くの国民の要望を受け、「昭和の日」となりました。昭和天皇の御事績に思いを馳せつつ、昭和の御代を振り返ってみては如何でしょうか。



神社の豆知識

地鎮祭について

地鎮祭とは、建物の新築や土木工事を始める際にその土地の神さまをお祭りし、工事の無事、土地や建物が長く安全堅固であることを祈願するお祭りです。

地鎮祭では、その土地の神さま（氏神さま、産土神さま）や大地主大神さま等をお祭りします。特徴的な行事として、四方祓、刈初・穿初の儀、鎮物理納の儀があります。四方祓では、土地の四方を大草や切麻で祓います。刈初・穿初の儀では、草を刈り、地を穿つ所作を行い、神さまに工事の開始を奉告します。鎮物理納の儀では神霊を鎮めるために鎮物の品を捧げて工事の無事安全を祈念します。

日本人の生活習慣における伝統や信仰に基づいたお祭りと言えます。



神社からのお願い

参拝者の中には高齢のかたや基礎疾患をお持ちのかたもいらっしゃるかと思いますので、引き続き職員がマスクを着用している神社もあります。ご理解下さいますようお願い致します。また、清々しい気持ちで神社にお参りして戴くために、皆様におかれましてもご協力いただきませうようお願い申し上げます。



神社や神道について詳しくはこちらのQRコードからご覧ください。



三重県神社庁
ホームページ



神社本庁
ホームページ



三重県神社庁
Instagram



三重県神社庁
YouTube

三重県内各神社では、家内安全・商売繁盛・初宮参り・七五三詣・学業成就・合格祈願・交通安全・縁結祈願・子授祈願・安産祈願・厄祓い・病氣平癒・地鎮祭・竣工祭・自動車清祓など様々なご祈願を受付けています。

いつもより神さまに近い場所で、願意を届けてみてはいかがでしょうか。
ご祈願についてのお問合せは、三重県内の各神社までお願い致します。